

**「食材流通コーディネーターによる県産食材流通活性化事業」
提案書評価基準**

1 評価基準

- (1) 出席した審査委員（以下、「審査委員」という。）は、下表の評価項目についてはA～E（1点～5点）の5段階で評価する。
- (2) 評価の考え方は、別紙「評価の視点」のとおりとする。なお、提案書に評価項目に該当する記載が無い場合は1点とする。
- (3) 最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、同位の提案が複数ある場合は審査委員の多数決により順位を決定する。
- (4) 項目ごとの評価で過半数の「1」があった場合は、受託候補者としての特定は行わないものとする。
（「特記すべき提案」項目は除く）

2 評価項目

評価項目及び着目点		配点	加重倍率	評価点
1 業務遂行能力		15		15 (小計)
(1)類似事業の実績	類似業務の実績（料理人等と生産者等とのマッチング）	5	-	5
(2)業務実施体制	人員体制	5	-	5
(3)業務実施スケジュール	実施スケジュールは妥当か	5	-	5
2 提案内容		40		85 (小計)
(1)業務目的の理解度	料理人やソムリエ、県産食材及び県産酒への理解・知見があり、本事業の目的を十分に理解した提案になっているか。	5	-	5
	本事業のターゲットは「やまなしグルメマン・エコノミー会議」に関わりのある料理人等、県産食材の生産者、県産酒の製造者等、明確に示されており、本事業の目的と合致しているか。	5	-	5
(2)手法の妥当性	料理人等のニーズ把握、料理人が要望する県産食材及びその生産者、県産酒及びその製造者の調査についての提案は妥当か（実現可能性は高く、料理人・ソムリエのニーズに対応可能か）。 【4 委託業務（1）】	5	×3	15
	県のテロワールの調査に関する提案は妥当か（実現可能性は高いか）。 【4 委託業務（1）】	5	×2	10
	マッチングシステムに活用するシステムは、知名度が高く、利用者が多く、利用しやすいものか。 【4 委託業務（2）】	5	×2	10
	マッチングシステムを活用したマッチングについての提案は妥当か（実現可能性は高く、実際に商談に繋がるようなマッチングは可能か）。 【4 委託業務（2）】	5	×3	15
	情報蓄積システムは、マッチングシステムと連動が取れ、過去の情報が検索しやすい仕様となっており、関連事業同士の相互理解、深化に寄与し、マッチング後の商談化率、成約率を向上するような内容となっているか。 【4 委託業務（3）】	5	×3	15
	KPIの達成が見込める内容となっているか。 【4 委託業務（5）】	5	×2	10
				100 (合計)

「食材流通コーディネーターによる県産食材流通活性化事業」
提案書評価基準

評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価					加重倍率	評価点 (100点)
			A	B	C	D	E		
			5	4	3	2	1		
業務遂行能力	(1)類似事業の実績	類似業の実績（料理人等と生産者等とのマッチング）	本事業と関連のある類似業務実績が5件以上ある。	本事業と関連のある類似業務実績が2～4件ある。	本事業と関連のある類似業務実績が1件ある。	類似業務実績があるが、本事業とは関連が薄いものに限る。	類似業務実績が無い。	-	5
	(2)業務実施体制	人員体制	特に優れており、万全の体制が組まれている。	優れており、標準以上の体制が組まれている。	妥当な体制である。	十分とは言えないが、本業務の実施はできる。	不安があり、本業務の実施が難しい。	-	5
	(3)業務実施スケジュール	実施スケジュールは妥当か。	十分検討されており高く評価できる。	検討されており評価できる。	検討されており妥当である。	スケジュールに不安がある。	スケジュールが整っていない。	-	5
提案内容	(1)業務目的の理解度	料理人やソムリエ、県産食材及び県産酒への理解・知見があり、本事業の目的を十分に理解した提案になっているか。	特に優れており、本事業の目的を的確に理解している。料理人やソムリエ、県産食材及び県産酒への理解・知見が十分ある。	優れており、本事業の目的を理解している。料理人やソムリエ、県産食材及び県産酒への理解・知見がある。	標準的であり、本事業の目的をある程度理解している。料理人やソムリエ、県産食材及び県産酒への理解・知見がある程度ある。	やや不十分であり、本事業の目的についての理解度に不安がある。料理人やソムリエ、県産食材及び県産酒への理解・知見もほとんどない。	不十分であり、本事業の目的を理解していない。料理人やソムリエ、県産食材及び県産酒への理解・知見もない。	-	5
		本事業のターゲットは「やまなしグルメ・エコノミー会議」に関わりのある料理人等、県産食材の生産者、県産酒の製造者等、明確に示されており、本事業の目的と合致しているか。	特に優れており、ターゲットが明確である。	優れており、ターゲットがやや明確である。	標準的である。	やや不十分であり、ターゲットが分かりにくい。	不十分であり、ターゲットが明確でない。	-	5
	(2)手法の妥当性	料理人等のニーズ把握、料理人が要望する県産食材及びその生産者、県産酒及びその製造者の調査についての提案は妥当か（実現可能性は高く、料理人・ソムリエのニーズに対応可能か）。 【4 委託業務（1）】	特に優れており、実現可能性は高い。	優れており、実現可能性はやや高い。	標準的である。	やや不十分であり、実現可能性は低い。	不十分であり、実現可能性はほとんどない。	×3	15
		県のテロワールの調査に関する提案は妥当か（実現可能性は高いか）。 【4 委託業務（1）】	特に優れており、実現可能性は高い。	優れており、実現可能性はやや高い。	標準的である。	やや不十分であり、実現可能性は低い。	不十分であり、実現可能性はほとんどない。	×2	10
		マッチングシステムに活用するシステムは、知名度が高く、利用者が多く、利用しやすいものか。 【4 委託業務（2）】	特に優れており、実現可能性は高い。	優れており、実現可能性はやや高い。	標準的である。	やや不十分であり、実現可能性は低い。	不十分であり、実現可能性はほとんどない。	×2	10
		マッチングシステムを活用したマッチングについての提案は妥当か（実現可能性は高く、実際に商談に繋がるようなマッチングは可能か）。 【4 委託業務（2）】	特に優れており、実現可能性は高い。	優れており、実現可能性はやや高い。	標準的である。	やや不十分であり、実現可能性は低い。	不十分であり、実現可能性はほとんどない。	×3	15
		情報蓄積システムは、マッチングシステムと連動が取れ、過去の情報が検索しやすい仕様となっており、関連事業同士の相互理解、深化に寄与し、マッチング後の商談化率、成約率を向上するような内容となっているか。 【4 委託業務（3）】	特に優れており、実現可能性は高い。	優れており、実現可能性はやや高い。	標準的である。	やや不十分であり、実現可能性は低い。	不十分であり、実現可能性はほとんどない。	×3	15
	KPIの達成が見込める内容となっているか。 【4 委託業務（5）】	KPIの達成が見込まれ、さらに効果的な独自KPIの提案がされている。	KPIの達成は見込まれ、独自KPIの提案もあるが効果的とは言えない。	KPIの達成が見込まれる。※独自KPIの提案なし	KPIの達成に不安がある。	KPIの達成が見込めない。	×2	10	